

教えて新採さん

富山県庁 若手職員の声

新規採用職員

(令和5年 10 月以降採用)

に聞いてみました!



© (公社) とやま観光推進機構

**事務
職編**



富山県人事委員会事務局企画・任用課



(令和6年12月作成)

【目次】

新採さんの仕事 事務職編.....	1
頑張る新採さん Pick Up! 事務職編.....	6
試験対策.....	12

【「教えて新採さん！富山県庁 若手職員の声」について】

本書は、令和5年10月以降採用の新規採用職員（新採さん）を対象としたアンケートを基に、人事委員会事務局の採用1年目の主事が作成しています。

回答者110名の内訳は、次のとおりです。

・試験別

- ―上級試験（特別募集を含む） 73名
- ―初級試験（障害者対象を含む）15名
- ―職務経験者（UIJターン）試験 5名
- ―就職氷河期世代試験 2名
- ―その他の選考試験 15名

・職種別

- ―事務職 50名
- ―技術職 60名

心理1名 社会福祉1名 環境3名 管理栄養士1名 工業研究（機械）2名
工業研究（電気電子）2名 農業6名 林業3名 水産1名 総合土木19名
建築2名 機械1名 電気3名 保健師6名 薬剤師2名 臨床検査技師2名
診療放射線技師1名 獣医師1名 学芸員1名 職業訓練指導員1名
船舶職員1名



きときと君

ぶりと君



新採さんの仕事 事務職編

所属（業務内容） ※回答者の所属と主な担当業務を記載しています

【知事政策局】

- 行政デジタル化・生産性向上課（AI チャットボットに関する業務等）
- デジタル戦略課（デジタルソリューション推進事業に関する業務等）
- 広報課（県 HP や県公式 Instagram の運用、庁内各部署の広報事項の取りまとめ等）

【危機管理局】

- 防災・危機管理課（防災研修の運営・調節等）
- 消防課（火災統計や火災予防に関する業務、電気工事業登録申請受付等）

【地方創生局】

- 中山間地域対策課（中山間地域支援（砺波地区）等）
- 市町村支援課（選挙常時啓発等）

【交通政策局】

- 城端線・氷見線再構築推進課（城端線・氷見線鉄道事業再構築に係る企画・調整業務等）

【経営管理部】

- 人事課（職務専念義務免除申請、営利企業等従事許可申請の取りまとめ等）
- 統計調査課（学校基本調査、勤労統計調査、家計調査に関する業務等）
- 管財課（庁用車等の購入に関する業務等）
- 学術振興課（大学院奨学資金の返還処理等）

【生活環境文化部】

- 県民生活課（エシカル消費 PR 事業の実施、災害ボランティアに関する業務等）
- スポーツ振興課（富山マラソンに関する業務等）

【厚生部】

- 高齢福祉課（介護給付費負担金に関する業務等）
- 障害福祉課（障害福祉サービス事業所の指定、変更届の処理等）
- 厚生企画課（国民健康保険に係る補助金に関する業務等）
- 健康課（富山県のがん検診受診率の向上に対する取組み等）
- こども未来課（児童扶養手当の受給資格等の認定に関する業務等）

【商工労働部】

- 労働政策課（認定職業訓練校に関する業務、県内企業における外国人材の活用促進等）
- 立地通商課（企業誘致に関する業務等）
- スタートアップ創業支援課（とやまスタートアッププログラム in 東京に関する業務等）

【農林水産部】

- 農業技術課（公益法人に関する業務等）
- 農業経営課（農協検査に関する業務等）
- 農村整備課（換地業務等）
- 農産食品課（富山県食品安全推進本部会議の運営等）
- 市場戦略推進課（輸出に関する補助金事業等）
- 森林政策課（保安林の指定に関する業務等）

【土木部】

- 道路課（県道の認定、変更および廃止に関する業務等）
- 都市計画課（土地利用計画・地区計画に関する業務等）

【人事委員会事務局】

- 企画・任用課（初級試験業務等）

【労働委員会事務局】（労働相談に関する業務等）

【教育委員会】

- 教育企画課（学校の校舎、屋体等の国庫補助事業(市町村と文科省の中継業務)等）
- 教職員課（教職員の給料等の支払いに係る事務等）

【学校事務】

（職員の給与、服務、福利厚生、旅費に関する業務、学校基本調査に関する業務等）

職場の雰囲気

人間関係

- ・それぞれが受け持つ業務量が多いため、繁忙期等はどうしても業務に集中した雰囲気となるが、先輩の方々も優しく、シゴデキの方が多いため、わからないことがあればいつも優しく教えてくださいます。(人事課)
- ・昼休みに課の方と県庁近くのお店にランチに行ったり、休日には遊んだり、とてもあたたかく楽しい雰囲気の職場です。また、業務を進めていく中で、わからないことや不安なことは誰にでも相談できる環境なので、安心して仕事ができます。(市町村支援課)
- ・入庁前は、堅いイメージで、職場も静かなのではないかというイメージでした。しかし、入庁してみると、和気あいあいとしていながらも、業務に真摯に取り組まれており、メリハリのある職場だと感じました。(厚生企画課)
- ・忙しい時期ですので、皆さん忙しそうにしていますが、質問などには優しくお答えいただいています。(労働政策課)
- ・勤務中は、静かなイメージがありましたが、私が配属された部署では、職員同士が活発に意見交換しているところにギャップを感じました。(県民生活課)
- ・採用前には県庁について少し堅苦しいようなイメージを持っていましたが、フリーアドレスであることで同じ室のたくさんの人と話す機会が多く、皆さんがやさしく接してくださるので楽しく仕事をすることができました。(行政デジタル化・生産性向上課)

仕事関係

- ・すぐに新規事業を担当するとは想像していませんでした。手探りだが、課員で意見を出し合い、事業が形作られていく経験は、非常に貴重な経験をさせてもらっていると感じています。(城端線・氷見線再構築推進課)
- ・県庁の仕事では県民の方と直接かかわることは少ないと思っていたのですが、想像以上にそういった機会がありました。直接声を聞けて嬉しいです。(統計調査課)
- ・1年目から自分が主務となる業務が多いことに驚きました。(教職員課)
- ・採用前も学校事務は陰で運営を支えていると思っていたが、それはもちろんのこと、学校事務職員として仕事をしていると、たくさんの知識が必要で、教職員の方たちが分からないことは、事務に聞きに来るくらい大切な職だということが分かった。(学校事務)

仕事のやりがいや達成感

- ・自分の裁量で考えたことが、研修のテーマや日程等に反映されたときにやりがいを感じます。（防災・危機管理課）
- ・議会の中で自分が取りまとめた資料が発表されて、新聞記事になったときは達成感を感じました。（市場戦略推進課）
- ・自分は当初、火災のことに関しては全く詳しくなかったが、最近は日々の業務をこなすにつれて、火災に関することに徐々に詳しくなっていき、他の人に説明できることも増えていったため、成長を感じられた。（消防課）
- ・市町村からの問い合わせに対して悩まずに回答できたときは、自分の成長を感じられ、仕事のモチベーションにつながります。1 年目から自分の担当業務を任されるため不安もありますが、その分責任感を持って仕事に取り組むことができ、やりがいも感じられます。（教育企画課）
- ・仕事のやりがいとしては、自分で発案した企画を実際に行うことができ、そこに結果が伴ってくるとやりがいを感じます。もし、結果が伴わなくても、問題点を分析し、改善策を考えることも、仕事のやりがいに繋がっています。（健康課）
- ・県民の方と関わることが多いので、自分の行った業務に対して感謝されるとやりがいを感じます。また、NPO 法人を設立するには多くのやり取りやチェックが必要なので、設立が完了したときは達成感を感じます。（県民生活課）
- ・生成 AI を今年導入したため、生成 AI を活用し、業務効率化に挑戦するといった新しいことに関われるところにやりがいを感じています。（行政デジタル化・生産性向上課）
- ・事務処理ばかりのイメージであったが、個人の裁量で仕事を組める事が多く、責任は伴うが、その分結果として現われやすいと思った。チラシを初めて作ったが、自分の考えを反映でき、実際に物になった時はうれしかった。（こども未来課）
- ・出先機関の方々と協力して業務に取り組むことが多く、多くの人と関わり合いながらひとつのことをやり遂げたときに達成感を感じました。（森林政策課）
- ・出前授業で生徒の皆さんが真剣に授業を聞いてくださったり、先生方から感謝のお言葉をいただいたりすると、準備を頑張った良かった、と感じます。（市町村支援課）
- ・入力とチェックの多い仕事なので、回覧したときに自分が確認して作成した書類がミスなく戻ってくると、達成感を感じます。（学校事務）

働いていて苦労したこと

- ・日々様々な問い合わせなど、予想外の出来事が多く発生することに対処していくのが、大変だと感じます。また、一度に多くの業務が同時に進んでいるため、頭が混乱してしまうこともよくあります。
- ・働いていて苦労したことは、Word と Excel の使い方です。学生時代は、あまり Word や Excel を使ってこなかったのが、今でもわからないことがあったら、パソコンで調べており、その時間をもったいないと感じています。
- ・目の前の業務が多く、こなしきれずに苦労することもあります。
- ・道路法など働くまで知らなかった専門知識を頭に入れていかないと、一般の方からの相談や、出先の職員からの質問に答えることができなく大変だった。
- ・業務内容はもちろん、仕事をする上での礼儀作法が身についていないまま（研修で学ぶ機会はあるが）、通常の業務に取り組む必要があるのも、最初は様々な不安を感じながら仕事をするのが大変だった。
- ・初めてのことでばかりで、先の見通しをなかなか立てることができず、大変だった。

働いてみて必要だと感じたスキル

- ・伝えたいことを簡潔に説明できる能力が必要だと思いました。市町村や県民の方に電話で問い合わせに回答することが多いため、先輩方の説明の様子を聞いて、自分もなるべく制度などを相手にわかりやすく伝えられるように頑張っています。
- ・電話対応が多く、コミュニケーション能力をより高める必要があると感じた。
- ・様々な事業を並行して行うため、担当業務を整理し、優先順位をつけながら仕事を進める能力が必要。
- ・パソコンスキルはあって損はないかなと感じました。（Excel や Word だけでなく、ショートカットキーなど）



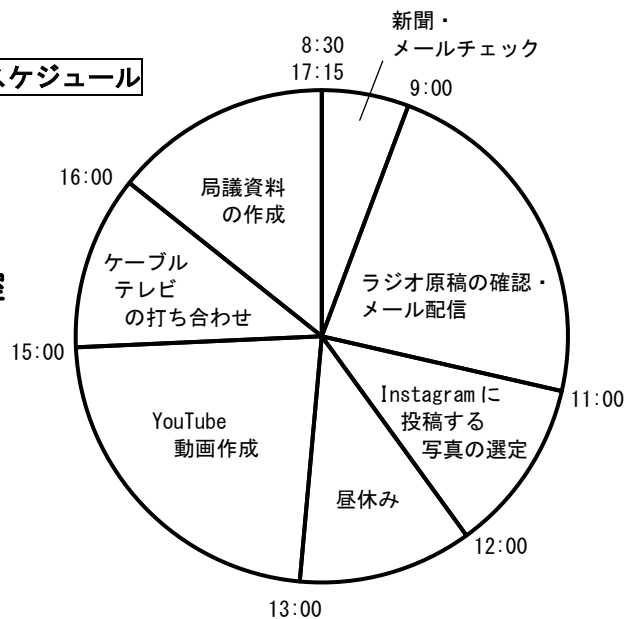
こんな職場で働いています！

〔 広報・ブランディング推進室 〕
〔 知事の会見準備の様子 〕



頑張る新採さん Pick Up! 事務職編

ある一日のスケジュール



所属

- ・知事政策局 広報・ブランディング推進室

主な業務内容

- ・CATV 県政番組「とやまトピックス」
- ・県公式 Instagram の運用
- ・広報事項の取りまとめ

職場の雰囲気

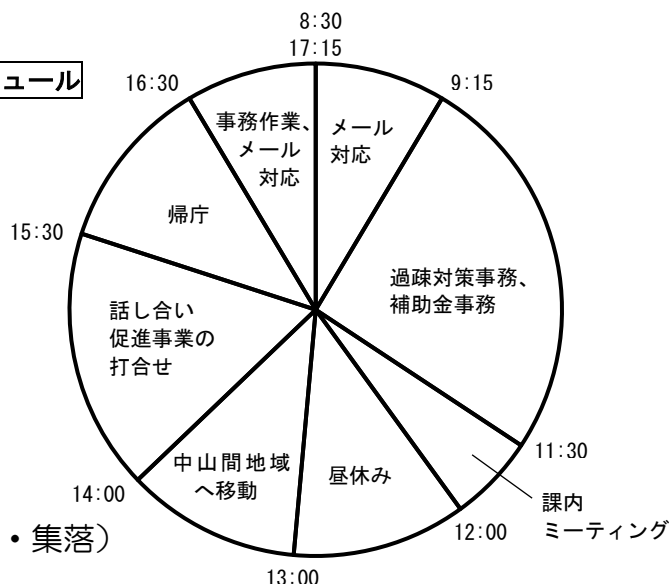
- ・皆さん明るく、上司の皆さんにも話しやすい雰囲気があります。
- ・風通しがよくアイデアが生まれやすい環境だと思います。
- ・それぞれの業務だけでなく、チームとして動くことも多く、和気あいあいとしています。

仕事のやりがいや達成感

必要だと感じたスキル

- ・Instagram や YouTube など、自分が携わったものをたくさんの方に見ていただいたときに達成感を感じます。
- ・働いて必要だと感じたスキルは、コミュニケーション能力だと感じます。
- ・意見やアイデアが言いやすい雰囲気なので、自分の意見を持って、発言することも大切だと思います。

ある一日のスケジュール



所属

・地方創生局 中山間地域対策課

主な業務内容

- ・大学生との政策協働プログラム
- ・中山間地域支援（砺波地区）
- ・条件不利地域対策事務（過疎・辺地・半島・集落）

職場の雰囲気

・中山間地域対策課では、地域を循環し困りごとを聞いたり、課の事業を紹介したりする地域コンシェルジュが4名在籍しています。コンシェルジュの地区担当と連携をしながら一緒に仕事を進めるので、チーム仕事が多い印象です。コンシェルジュの紹介もあって実際に地域に出向く機会も多いためか、デスクは外出中の人が多いのがこの課の特徴だと思っています。

仕事のやりがいや達成感

必要だと感じたスキル

- ・県庁では珍しく地域と直接やり取りを行いながら一緒に事業を進める仕事をしています。パソコンに一日中向き合っていて地域のことを理解するのは難しいので、実際に話をしながら一緒に仕事ができていることはやりがいを感じます。
- ・地域の様々な人と一緒に仕事をするからこそ、地域の方になるべく分かりやすく丁寧に説明をしたり地域の困りごとに相談に乗ったりすることが求められます。そのためには過去の進め方だけにとらわれることなく柔軟に物事を判断して取り組むことが必要なのかなと思っています。

所属

・経営管理部 学術振興課

主な業務内容

- ・大学院奨学資金の返還処理
- ・各種補助金の処理
- ・大学コンソーシアム富山関連業務
- ・財産管理
- ・学生居住支援

職場の雰囲気

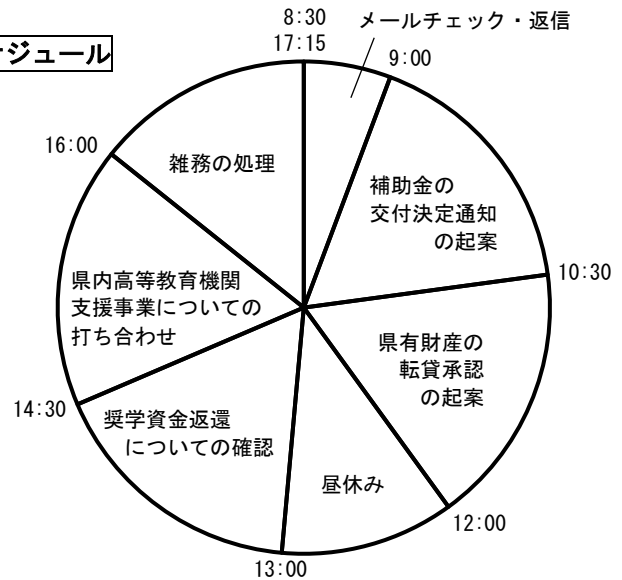
・ある程度リラックスしながら働ける環境であり、堅苦しい雰囲気だと想定していたが、良い意味でギャップがあった。

仕事のやりがいや達成感

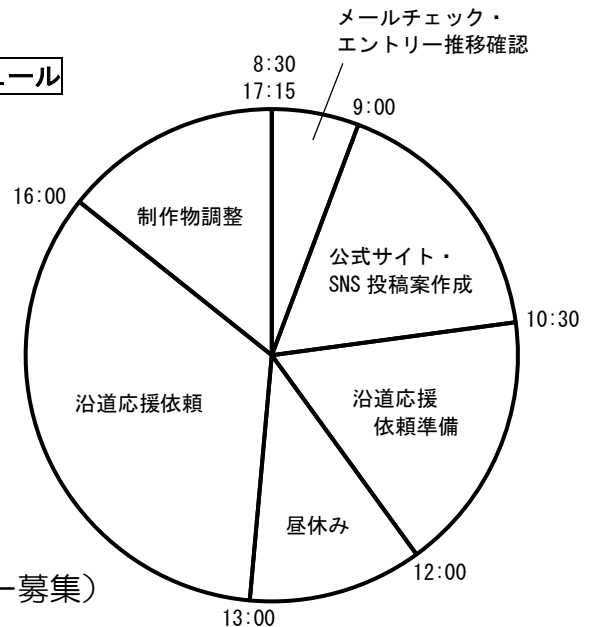
必要だと感じたスキル

- ・自分のような若い職員の意見もしっかり汲み取って業務に反映させてくれる点がやりがいを覚える。
- ・単純作業だけでなく、柔軟な発想や思考が必要な業務が予想以上に多くあるため、マニュアル通りの思考回路でなく、オリジナリティ溢れる考え方が必要だと感じる。

ある一日のスケジュール



ある一日のスケジュール



所属

- ・生活環境文化部 スポーツ振興課

主な業務内容

- ・富山マラソンに関する業務
(公式サイト・SNS 更新、沿道応援、ランナー募集)

職場の雰囲気

・採用前は、静かな環境で事務作業が多いというイメージを持っていた。しかし、実際は、わからないことがあれば先輩課員に聞きやすい雰囲気であり、他の課員の皆さんも積極的に質問をし合っているため、明るく活発な職場である。

仕事のやりがいや達成感 働いていて苦労したこと

・公式サイトや SNS を見て、申込をした方がおられると、「やってよかった」とやりがいを感じることができる。富山マラソンが成功するイメージを想像しながら、日々業務に取り組んでいる。

・業務内容はもちろん、仕事をする上での礼儀作法が身につけていないまま（研修で学ぶ機会はあるが）、通常の業務に取り組む必要があるため、最初は様々な不安を感じながら仕事をするのが大変だった。また、初めてのことで、先の見通しをなかなか立てることができなかったのも大変だった。

ある一日のスケジュール

所属

・厚生部 障害福祉課

主な業務内容

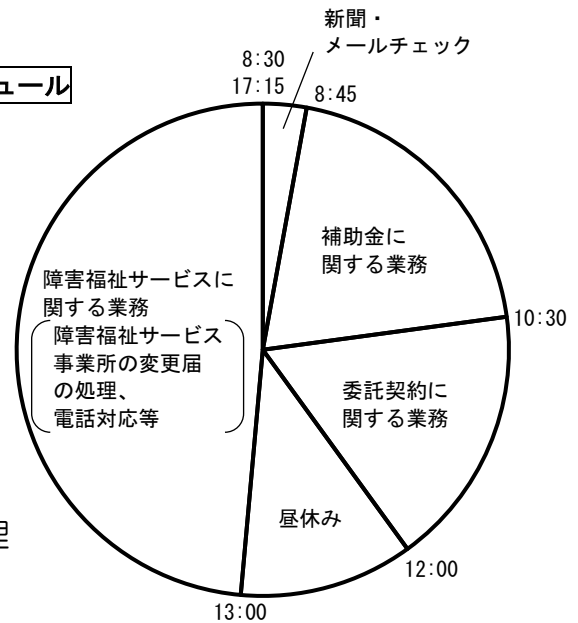
- ・指導監査対応
- ・障害者団体との契約等
- ・障害者団体への補助金の交付等
- ・社会福祉施設の整備に関する補助金対応
- ・障害福祉サービス事業所の指定、変更届の処理

職場の雰囲気

・採用前は、厳格できびきびとしたイメージだったが、実際はコミュニケーションが多く明るい職場で、周りに頼りやすい環境だと感じる。

仕事のやりがいや達成感

・障害当事者の人やその人たちを支援する団体に対して、影響を与える仕事なので、責任感と同時にその意義を感じることができ、やりがいの大きな仕事だと思う。



ある一日のスケジュール

所属

・農林水産部 森林政策課

主な業務内容

- ・保安林の指定など

職場の雰囲気

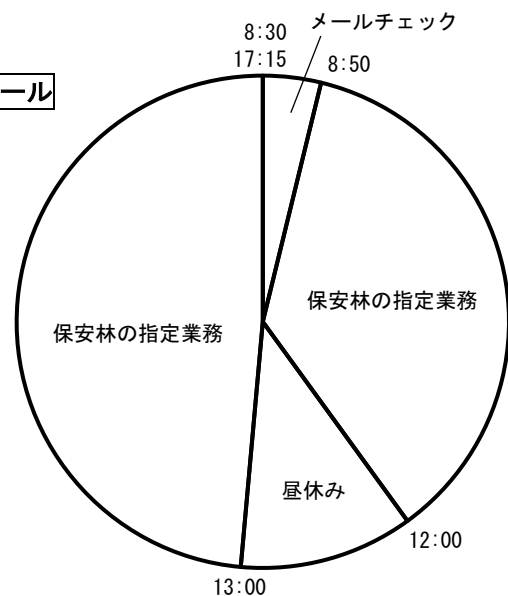
- ・質問しやすく、和やかな雰囲気。
- ・それぞれが自身の業務に集中して取り組んでいる。

仕事のやりがいや達成感

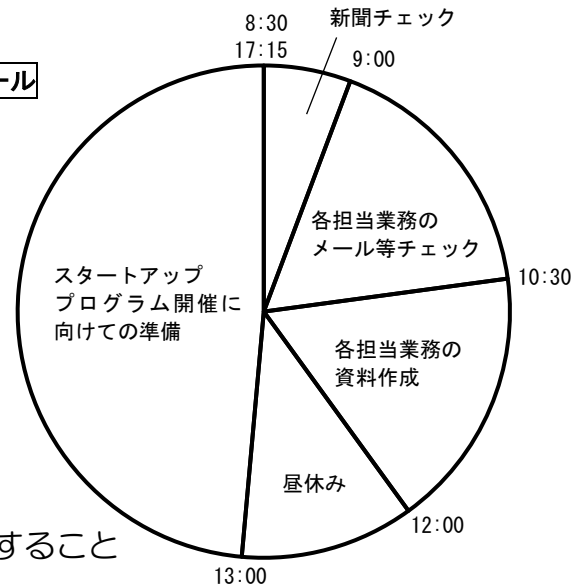
働いていて苦労したこと

・出先機関の方々と協力して業務に取り組むことが多く、多くの人と関わり合いながらひとつのことをやり遂げたときに達成感を感じました。

・働いていて、分からないことがあれば、ある程度自分で考えた上で周りに頼ることが大切だと感じました。



ある一日のスケジュール



所属

- ・商工労働部 スタートアップ創業支援課

主な業務内容

- ・とやまスタートアッププログラム in 東京に関すること
- ・創業補助金に関すること
- ・とやまスタートアップコミュニティに関すること
- ・とやま創業支援拠点活性化事業に関すること
- ・SCOP TOYAMA の運営に関すること
- ・スタートアップビザに関すること
- ・事業承継セミナーの開催に関すること

職場の雰囲気

- ・課内は活発で、話しやすい雰囲気。
- ・業務の性質上外に出る方が多く、席が空いていることも多い。

仕事のやりがいや達成感

- ・富山県のスタートアップの気運が高まってきていることから、課内の事業が新聞等にも掲載されるので、県民に必要とされていると実感できること。
- ・企業の方とコミュニケーションを取ることが多い課なので、起業支援だけでなく様々な経験や知識を身につけることができること。

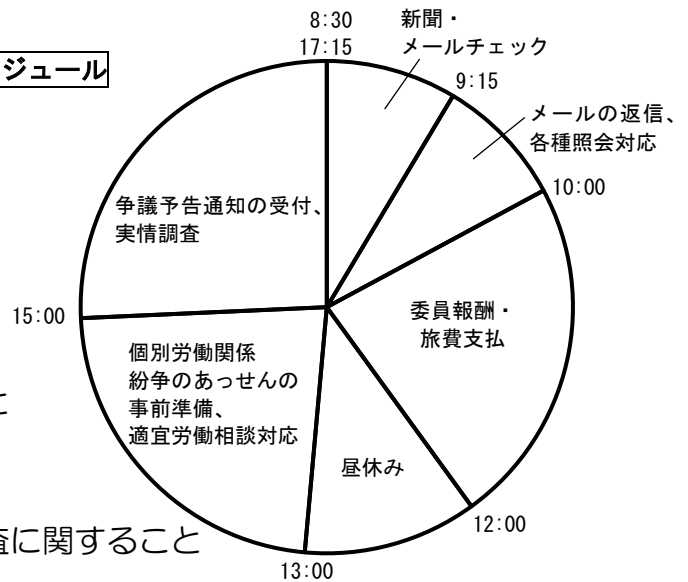
ある一日のスケジュール

所属

- ・労働委員会事務局

主な業務内容

- ・労働相談に関すること
- ・個別労働関係紛争のあっせんに関すること
- ・委員の報酬及び旅費の支給に関すること
- ・調整及び審査事務の諸報告に関すること
- ・公営企業等の争議予告通知に係る実情調査に関すること
- ・労働争議のあっせんに関すること
- ・不当労働行為救済申し立てに係る審査に関すること



職場の雰囲気

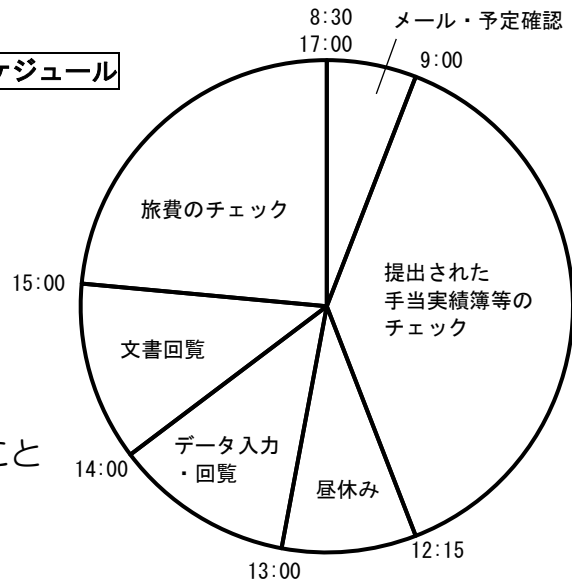
- ・事務局職員は5名のみのため、全員と均等にコミュニケーションが取れる。みなさんとても話やすい。
- ・執務室は広いため、一人当たりのスペースも広い。
- ・「労働委員会事務局」という固い名前の部署だが、とても働きやすい（かなりおすすめできる）。

働いていて苦勞したこと

必要だと感じたスキル

- ・苦勞というほどでもないが、労働法（労働基準法、労働契約法、労働組合法など）の専門的知識が求められるので、隙間時間に自主的に学んでいく必要がある。
- ・労働相談は基本的に電話でかかってくるため、相談内容に応じて臨機応変な対応ができるよう、関係法令に目を通しておくことが不可欠である。
- ・あっせん等では争点に応じて関係判例なども読み込む必要があるため、実務をこなしながら確実に知識を付けていくことが必要である。

ある一日のスケジュール



所属

- ・学校事務 富山県立氷見高等学校

主な業務内容

- ・教職員の人件費に関すること
- ・教職員の服務、共済、福利厚生に関すること
- ・県内旅費に関すること
- ・各種証明書の発行
- ・災害共済給付金
- ・調査・統計に関すること

職場の雰囲気

・採用前のイメージは黙々と一人で仕事をするイメージでしたが、実際は事務室の方々だけでなく、教員の方ともコミュニケーションをとることが多いので、仕事をするうえでわからないことが聞きやすい環境だと思います。

仕事のやりがいや達成感

必要だと感じたスキル

- ・入力とチェックの多い仕事なので、回覧したときに自分が確認して作成した書類がミスなく戻ってくると、達成感を感じます。
- ・チェックの間に先生に確認することが多いので、躊躇なく話しかけられるコミュニケーション力があればいいと思います。

試験対策

1. 就職先を富山県職員に決めた理由は？

～富山愛～

- ・ふるさとである富山県、県民のために尽くすことができる仕事をしたいと思ったから。
- ・県外出身なこともあり、富山県の文化に強く魅力を感じたからです。公務員として富山県のために働くことができれば楽しいだろうと思い志望しました。
- ・生まれ育った富山県で、県民の方が安心して生活を送れる環境を作りたいと思ったから。
- ・富山県が好きで、富山県の魅力を県外、海外の方にも広めていきたいと思ったから。
- ・以前、富山県に住んでいたことがあり、その時に住みやすさや県民の方の温かさなどに魅力を感じ富山県のこと好きになった。その他にも豊富な海の幸や自然など、様々な魅力に溢れた富山県を多くの人に伝え、富山県の更なる発展に貢献したいと思ったから。

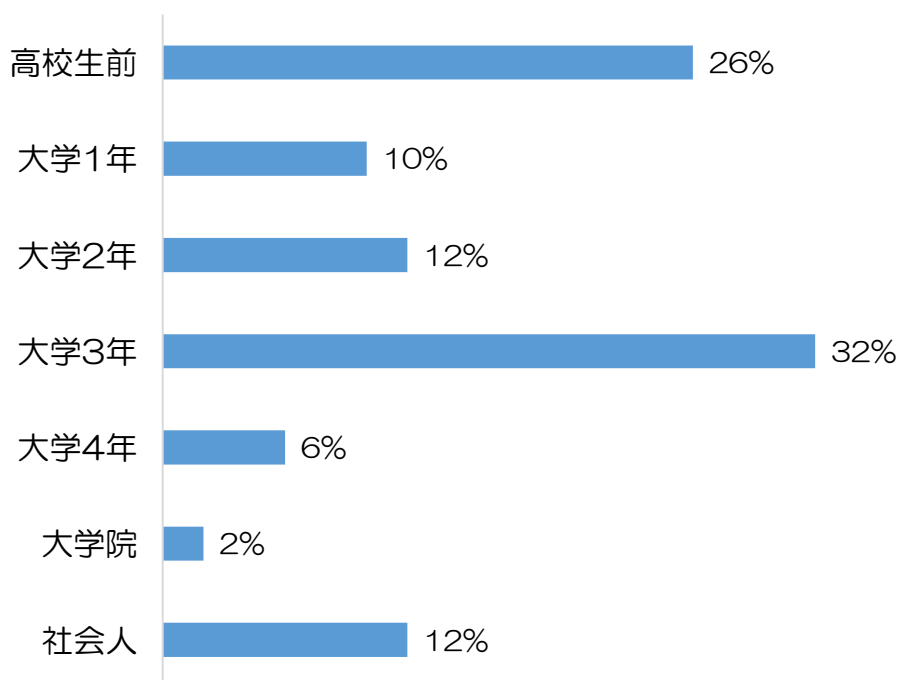
～県職員の仕事・働き方に魅力を感じて～

- ・人々の課題解決のフローに関わりながら、ともに自身も成長していけるような職、それに就いて感謝の言葉を頂ける職に就きたいと考え、広く公務員（国家・地方）を志望していた。国家公務員よりも地方公務員の方が、様々な行政サービスを施行するにあたって現場に近い、人との関わりをより強く実感できるのではと考えた。富山県を選んだのは併せて地元貢献もできると思ったからである。
- ・UIJ ターンの促進をするとともに、県外の方々へ富山県の魅力を発信したいと考えたから。
- ・高校生の頃に、地元の氷見市が消滅可能性都市に指定されていることを知り、富山県の行政の仕事に興味を持った。富山県全体で人口減少問題をはじめ、様々な施策を考えないといけないと思い、氷見市役所ではなく富山県庁を志望した。
- ・富山県が持つスポーツ資源と観光資源を合わせた、スポーツツーリズム、アウェーツーリズムの促進を、市町村や事業者と協力して行いたいと考えたから。
- ・大学で専攻していたマーケティングの知識を民間活力導入の分野で生かしたかったから。
- ・多岐にわたる業界と関わることができ、広い視野を身に着けることができる点に魅力を感じたから。
- ・前職では初期配属分野からの異動が少なかったので専門性は身についたが、自身の選好としては幅広い分野に携わりたかったので、定期的なジョブローテーションがある県庁職員を選択しました。
- ・女性でもキャリアが閉ざされず、私生活や家事・育児との両立ができ、ワークライフバランスが整った生活ができると思ったから。
- ・将来設計をしやすく、自分の時間も大事にしたいと思ったから。

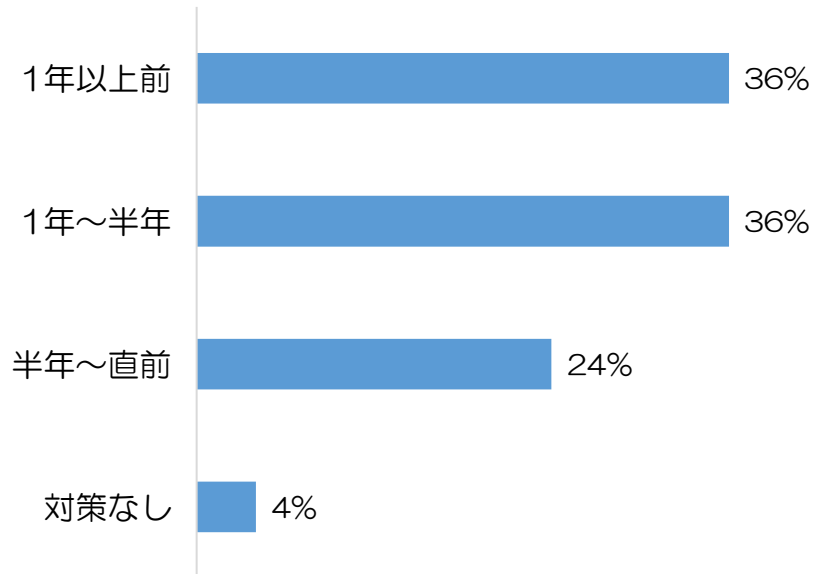
～説明会への参加や、県職員の働く姿を見て～

- ・大学二年生の際、有給インターンで広報課に配属されたことがきっかけ。職場の皆さんの温かい雰囲気決めました。また、自身の性格上、様々なことに興味があるため、部署異動があり幅広い業務に携われることから、富山県職員に決めました。
- ・高校時代の担任の先生に、県職員を勧められたことがきっかけ。その後、インターンシップや説明会で自分のやりたい仕事、行きたい部署が見つかり、県職員になりたい気持ちが強くなった。
- ・富山県庁でのインターンシップが、例年夏ごろに行われるのですが、そこで実際に県職員としての仕事の様子や雰囲気から自分が富山県職員として働くイメージができたので、富山県職員を強く志望するようになりました。
- ・大学時代の部活の先輩が富山県職員として働いており、その先輩から仕事の話聞く中で、県職員として県民のために働くことに憧れを抱くようになりました。

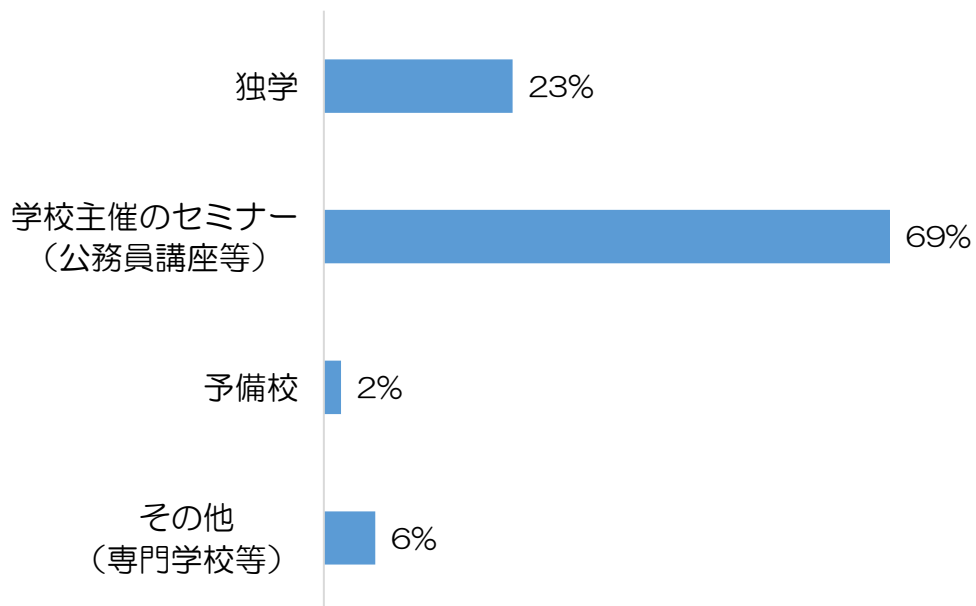
2. 就職先として富山県職員を考えるようになった時期は？



3. 筆記試験対策はいつから始めた？



4. 筆記試験対策に何を利用した？



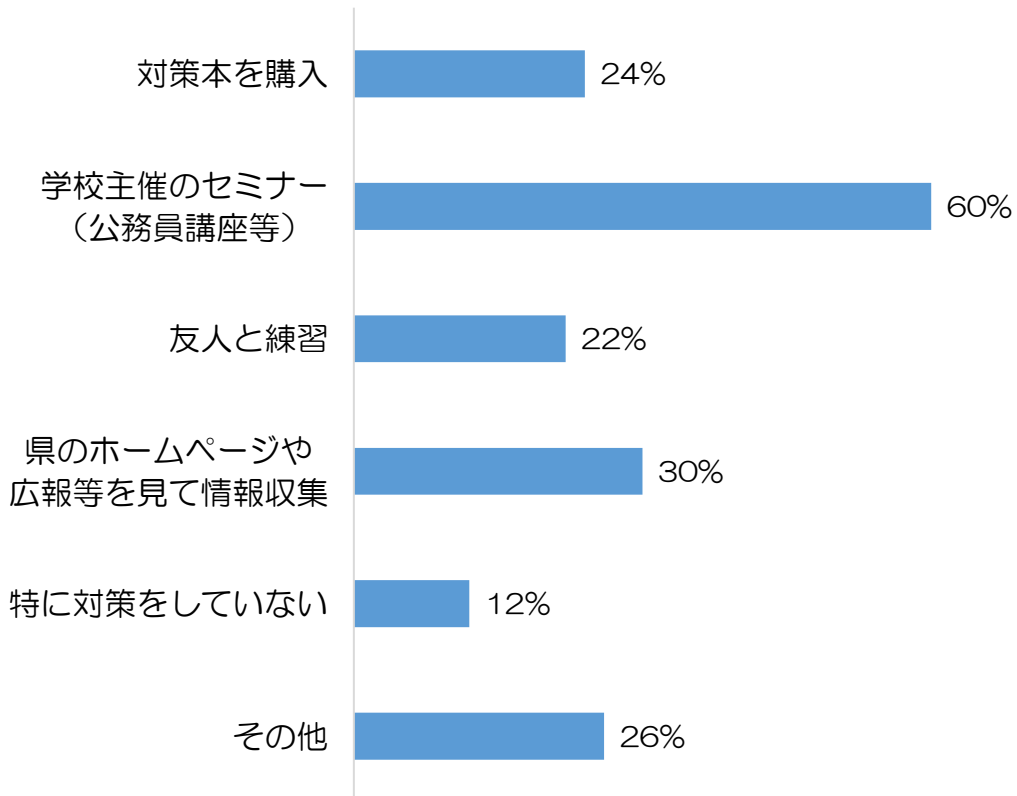
5. オススメの筆記試験対策方法は？

- ・テキストを一度読んで内容を把握した後、テキスト閉じてから何も見ずに把握した内容を書いてアウトプットする。アウトプットを沢山する。
- ・10問飛ばしで勉強すること。参考書の問題数があまりにも多いので、ある程度内容が分かってきたら1問解いたら10問飛ばすというやり方で勉強しました。試験では单元ごとに問題は出ないので、ランダムに広く勉強することを意識していました。
- ・しっかりと計画を立てて、過去問を何周も解いたり、模試の問題を見直したりすることが大事だと思います。
- ・公務員試験は満点を目指すものではなく、7割くらい取れば合格できるので、各科目の出題数や自分の得意分野を理解して効率よく勉強する。
- ・一度も触れたことがない科目（文系の人なら物理など）は、捨てるか否か早めに決断する。
- ・一緒に公務員試験を受験する友達とクイズを出し合う
- ・YouTubeで試験対策になりそうな解説動画を倍速で視聴する。
- ・とにかく過去問を繰り返し何度も解くこと。最初は意味わからなくても答えをよく読んで、テキストを解くのを繰り返すと3周目あたりからなんとなくわかり始めます。
- ・私は独学で試験勉強をやり抜くのは、無理だと感じたので大学が主催する公務員講座を受講した。公務員講座で配られるテキストをひたすらやれば筆記試験合格はできるので、信じて勉強することが大切だと思う。
- ・県庁の試験には過去問がないので、国家一般職などの過去問をしていました。
- ・模試を積極的に受験する。

6. 筆記試験対策での反省点は？

- ・効率よく勉強することの大切さに気付いたのが遅かった。問題を解くことや講義を受けることも大切ですが、範囲がとても広いので1から順にやるという気持ちで取り組むのではなく、効率よく取り組むことに早めに意識できれば良かったです。
- ・対策動画だけを見てインプットで満足していたことで、知識の定着が遅れたので、最初から過去問でアウトプットしておけばよかった。
- ・応用問題への対策より、基本問題に徹するとより効率的だったと思います。
- ・公務員志望なのに、周囲の内定等で焦り民間も併願すると勉強の時間を確保できなかったり、身が入らなくなったりした。
- ・私は、直前に詰め込む形になってしまったので、早くから準備していれば、余裕をもって面接対策もできたと思います。また、精神面の観点からも早く準備することが大切だと思います。
- ・教養試験と専門試験をもう少しバランスよく勉強したら良かった。

7. 論作文試験や集団討論、面接試験の対策に何を利用した？（複数回答可）



【「その他」の対策方法】

- 市もしくは県が運営しているジョブカフェ
- 新卒応援ハローワーク
- 学校の先生に指導してもらう
- 家族と練習
- 専門学校での授業
- 大学の面接講習
- 民間企業を受験
- 文章構造の本を読む

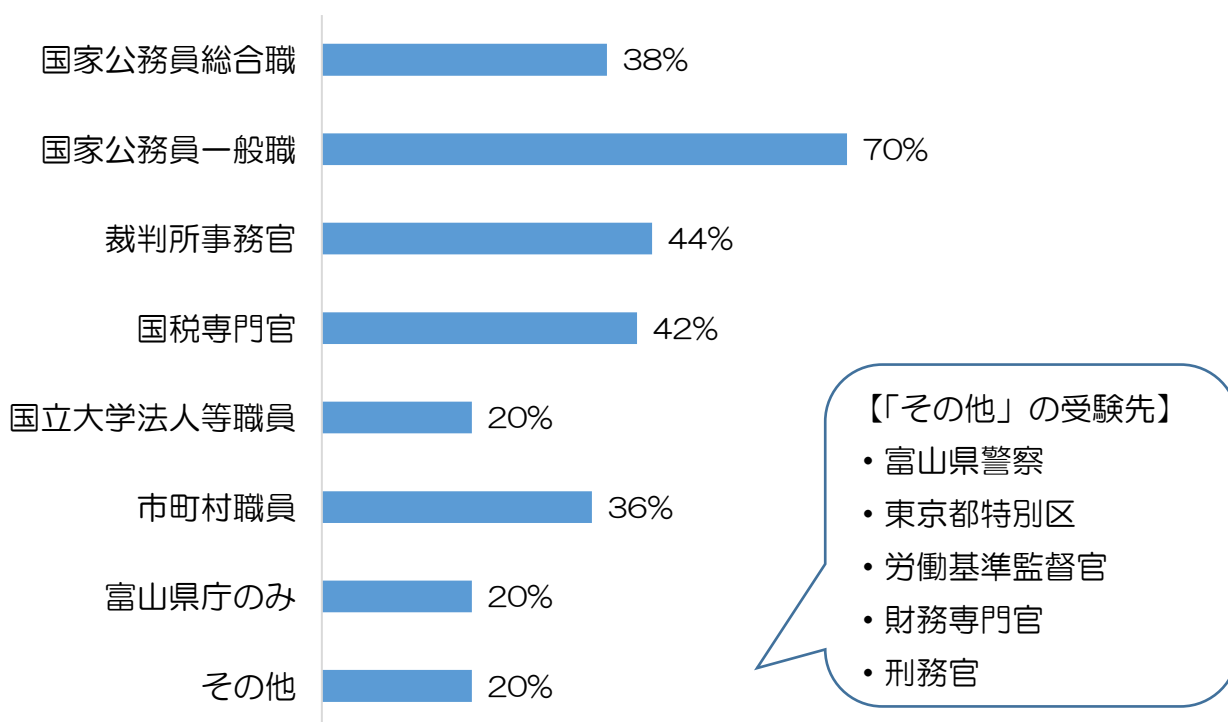
8. オススメの集団討論・面接試験対策は？

- ・自分が今まで取り組んできたことに自信を持つためにも、目的や目標、過程で大変だったこと等をしっかりと自分に落とし込む。また、自分自身のことについても見つめる時間が大切だと思います。大学の教授や就活支援センター、公務員講座での面接練習、ハローワーク等、とにかくたくさんの方に面接を見ていただいていたいました。
- ・面接中の表情や態度を家の鏡で確認しながら、応答練習をする。
- ・質問されたときに自分でしっかり答えられない事は、面接カードに書かない、討論や面接で話さない。面接の場で自分が話しやすい話題になるように、面接カードの書き方や、しゃべり方を想定しておく
- ・面接に関しては場数勝負だと強く感じています。民間を無理にうけるとは言わないが、とにかくいろんな人に見てもらうことが大事。
- ・面接では、事前に質問を予想して、回答を準備することも大事だと思うが、これまでの学生時代の自分の行動や経験を頭の中で整理しておくことで、どんな質問が来ても端的に答えることができると思う。
- ・ハローワークなどを活用し、知らない人に模擬面接をしてもらうのが、緊張感をもって取り組めるので良かったです。
- ・面接練習は見てもらう人によって意見や感じ方が異なるので、できるだけ違う人に見てもらうのがおすすめ。

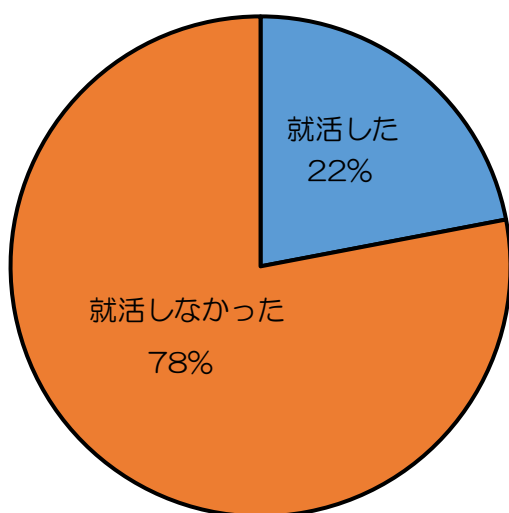
9. 集団討論・面接試験対策での反省点は？

- ・集団討論では自分の発言も重要だが、周囲の人の意見を聞く姿勢や態度、反応も同じくらい重要なのではないかなと思う。自分の発言は周囲の意見を踏まえたものにする。
- ・集団討論の練習で一般的な役割をわけて行うのが基本であると思っていたが、本番ではリーダー1 人が進行し、意見を言う機会等も少なく、練習と全く違った状況に動揺してしまいました。
- ・タイムキーパーの重要性を軽視しすぎた。本番になると、時間の進行が速いが皆多くの意見を出そうとするので話がごちゃごちゃになりやすい。進行するにあたって時間管理はものすごく大事だった。
- ・筆記試験が終了してから面接対策をしたが、時間がなく、かなり焦りながら毎日不安を抱えて過ごしていたので、筆記前から計画的に面接対策を始めていればよかった。
- ・ES のとおりに面接を練習したが、当日は ES とは少し違う形で設問が用意されていたため十分に発言を行えなかった。柔軟に対応する練習をすべきだった。
- ・思った以上に面接官の人数が多かったので部屋に入ると緊張し、早口での応答になってしまいました。

10. 富山県庁以外の受験先は？（複数回答可）



11. 民間企業の就活は？



【就活した理由】

- ・魅力を感じた業界と公務員を一つに絞れず、選択肢は多くてもよいと思ったから。
- ・公務員がダメだった時のため。
- ・公務員試験の前に面接を経験したかったため。
- ・一般的な就職活動をし、いろいろな仕事を見たくて、自分に合うものを探したかったから。
- ・公務員のほかにも社会に貢献できる仕事があると思ったから。

【就活しなかった理由】

- ・公務員として富山県で働きたかったから。
- ・公務員試験の勉強等で日程が詰まっており、時間的な余裕がなかったから。
- ・富山県職員を第一志望で就活をしていたので民間を視野に入れていなかった。
- ・就活を進めていく中で、富山県職員だけでなく、公務員の中でも幅広い業種があることを知り、公務員の括りの中で就活を行っていたから。
- ・民間の就活と両立できないと感じたから。
- ・公務員試験に集中したかったから

県職員を目指す方へメッセージ

- ・富山県庁は他にはできない、幅広い分野においてチャレンジできる環境が整っていると思います！皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！
- ・民間就職組が先に就活を終え、どうしても最後は孤独になるのかなと思います。苦しい時期も必ずあると思いますが、頑張ってください！ご希望がかなって県庁で採用されたのちで、ご縁があって一緒に仕事ができる日が来る楽しみにしています。
- ・日常生活で見聞きしていることや学んでいること、他者とのコミュニケーションは仕事をするうえで活かすことができます。日頃から丁寧に様々なことに取り組んで、県職員として活躍してほしいと思います。
- ・富山県職員は、「どんな人がいるんだろう」というのが、以外と外から見えにくいかもしれませんが、とても良い人ばかりですし、同期も非常に活発な人が多いので、人間関係が構築しやすいと思います。皆さんと富山県職員として一緒に働くことを楽しみにしています。
- ・受験する前は合格するかどうかや友人が民間就職で先に進路を決める不安があると思うが、富山県職員を目指した初心を忘れず最後まで頑張してほしい。
- ・富山県をどう変えたいのか考えてみてください！一緒に働ける日を楽しみにしています！
- ・自分は筆記が得意か面接が得意かを把握しておくことが大切だと思います！私は筆記の方が自信がなかったため、筆記に時間を多く割きました。そのように、自分の得意不得意にあわせて、どこに時間をかけるかが重要だと思います。筆記では、範囲のすべてを網羅することは難しいので、広く勉強することを意識していました。
- ・受験勉強をしていると自身の選択に迷いが生じることもありますが、自分を信じて、ひたむきにがんばってください！
- ・富山県庁は、職場の雰囲気もよく、テレワークや時短勤務なども積極的に導入されていて働きやすい職場です。部署によってやることは違ってきますが、色々なことにチャレンジできるのでやりがいはとてもあると思います。
- ・県庁は、すごい堅い職場だと思われることが多いですが、実際はとても明るく楽しい職場なので、一緒に働ける日を心待ちにしております！
- ・最後は、富山県への熱意・愛が、公務員試験の原動力となりました。厳しいことも多い公務員試験ですが、将来、県職員として働く自分を常にイメージして、前向きに頑張ってください。



2024122300308539161

定価 0 円 (本体 0 円 + 税 100%)



富山県

富山県職員採用に関する詳しい情報は、
ホームページをご覧ください



<https://www.pref.toyama.jp/sections/0300/saiyo.html>



富山県職員採用試験に関する情報は、

富山県公式 X (旧 Twitter)

富山県公式 LINE

でも発信しています！